

2026 年 9 月 30 日

東日本旅客鉄道株式会社

建設用 3D プリンターを活用し釜石線「小佐野駅」の建替えを行います

東日本旅客鉄道株式会社では、築 78 年を迎え、老朽化が進んでいる釜石線小佐野駅について、建設用 3D プリンターを活用した建替え工事を実施します。

建設用 3D プリンターによる駅舎の施工は当社管内で初めてです。また、建設現場に 3D プリンターを設置し、現地で直接造形する施工方法は、駅舎として日本で初めての試みとなります。

今回の工事を通じて、デジタル技術によるデザイン性向上、自動化による施工品質の平準化、省人化等、鉄道建築における新たな施工方法の可能性を検証します。

1. 新駅舎デザインコンセプト

小佐野駅は、釜石の山間部と海辺をつなぐ位置にあります。新駅舎では、「山から海へ流れる風のみち」をコンセプトとし、風を感じられるよう外壁の表情を計画しています。

2. 駅舎概要

駅 住 所：釜石市小佐野町 1 丁目 6 - 1

構造・規模：鉄筋コンクリート造、平屋建て

延べ床面積：約 7.5 m²

3. 工事スケジュール

工事着手：2026 年 10 月

仮設通路切替：2026 年 10 月中旬（予定）

新駅舎利用開始：2027 年 3 月（予定）

4. 外観



【新駅舎イメージ】 ※画像は完成イメージであり、実際の仕上がりと異なる場合があります。